

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャレンジアカデミー盛岡		
○保護者評価実施期間	令和7年12月25日		～ 令和8年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和7年12月25日		～ 令和8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が十分に体を動かしたり、安全に過ごす事が出来る室内を確保している。	用途に合わせた部屋を準備して、各部屋で利用者が過ごせるようになっている。	地域への活動参加やコミュニケーションを図る機会を設けていく。
2	利用者さんのニーズに合わせた、イベントや活動を計画及び実施をしている。	手先を使用して細かい作業が出来るようになるための工作活動など、目的を明確にして活動を考案している。	保護者様が参加できるような、イベントの実施や、交流をできる機会を設けていく。
3	バリアフリー（大きなトイレや手すり）等に配慮をした建物の作りになっている。	利用者が楽しく体を動かすことができるように、サイバーホールやエア遊具を設置している。	簡単に事業所の支援プログラミングや対策（感染や災害）、イベント情報を閲覧できるような体制の構築。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域イベントの参加や他事業所との交流の機会がない。	情報の提供や収集があまり出来ていない。	情報の提供や収集をしながら、イベントの参加や開催を行う。
2	保護者様同士の交流の場やお子様と一緒に参加するイベントが少ない。	開放デイなど保護者様が参加できるイベント等が限られ、バリエーション自体も少ない。	祝日や休日、長期休み等に保護者様やお子様と一緒に参加できるイベントの計画、実施の回数を増やしていく。
3			